

国際ホームステイプログラム in富川



岡山から韓国へ

文化体験

発行者
國政こころ

生活習慣の違い

日本からのお土産

富川市について

富川市（プチョン市）は仁川空港のある仁川市と韓国の首都ソウル市に挟まれる位置にある。宅地化が進み、人口密度はソウル市に続く全国第2位。



- 韓国の文化特別市
漫画、映画、音楽が盛ん
- 韓国の交通の要衝地
四方八達、韓国内外を連結
- 韓国の桃の産地
（岡山との共通点！）

岡山市と富川市の比較

岡山市	富川市
人口…71万人	人口…89万人
面積…789.91km ²	面積…53.44km ²

- 人口は岡山市の1.25倍
 - 面積は岡山市の0.07倍
- 岡山市は 898.8人/km²
富川市は16654.2人/km²

★人口密度は
東京都世田谷区以上！



1、キムチ作り

韓国といえばやっぱりキムチ！私が滞在した7日間、キムチは毎食食卓に並んでいました。キムチ作りには欠かせないのは唐辛子。ニラやアミエビ、ニンニク、塩、蜂蜜などを混ぜ合わせます。そして、白菜一枚一枚に練り込みます。見るからに辛いこのキムチは日本に帰って家族に食べてもらいました。



2、韓国料理作り

韓国の家庭料理であるプルコギとトッポッキを作りました。プルコギはプルコギ火、コギ火で独特な鍋で煮る料理です。トッポッキはおやつ定番の餅と何種類かの唐辛子を煮込んだ料理です。



3、Kポップ鑑賞

日本でもはやりのKポップの鑑賞をしました。富川大学のクラブの人たちやダンスチームの人たちの様々なパフォーマンスで盛り上がりました。



1、夜遅く寝て朝早く起きる

私がお世話になったホームステイ先がそうだったのかもしれないがとにかく、夜寝るのは遅いです。ホームステイ二日目の夜は街に繰り出して、夜の12時までショッピングを楽しみました。

2、屋台や外でごはんを済ませることが多い

ホームステイ先では、ほぼ毎回外食でした。一歩外に出れば、至る所に屋台があります。メニューの種類ごとに屋台があり、安いです。テイクアウトもできるので、買って帰って、食べた日もありました。



3、歩行者用信号機は常に点滅している

韓国の信号機歩道は、青信号が常に点滅しています。そして残り秒数が表示されています。しかし、とてもはやいので日本みたいにゆっくり渡っていると危ないです。



笑顔で迎えてくれたホームステイの家族へのお土産は、「和」のイメージで選んだもの。日本手ぬぐい、千代紙、和風ポーチ付箋など。弟がいたので、トミカの組み立て飛行機。もちろんきびだんごも。お土産を渡すと、みんなとても喜んでくれて一緒に折り紙折ったりしました。

お得な韓国派遣！

富川大学での交流期間は日本、韓国、アメリカ、ロシア、中国の5カ国の同年代の人と過ごしました。色々な言語が飛び交います。普段の学校生活では決まっていた今も、経験でした。帰国した今も、同室だったロシアの友達とは英語で、ステイ先の韓国の友達とは韓国語で連絡を取り合っています。

今回、実際に韓国に行くまでは、正直不安もありました。

けれど、通じ合おうとする気持ちがある文化や言葉の壁を越えて交流を深める事ができました。

